



# NPO法人ウッドデッキ 2025年度総会

2025年5月22日（木）15:00-17:30

日本大学会館 202号室



# 総会の内容

第1号議案 自己紹介、議長の選任

第2号議案 2024年度の活動報告

第3号議案 2025年度の活動計画

第4号議案 意見交換

ウッドデッキ賞表彰式

写真撮影

# 第1号議案 メンバー自己紹介、議長の選任

秋山咲恵 石塚真由美 井関祥子 近藤誠一 寺本華奈江 森田純恵  
山極壽一 渡辺美代子

小野悠(zoom) 小浦節子(zoom) 辻明子(zoom) 濱口道成(zoom)  
安田仁奈(zoom) CASSIM Monte (zoom) WIECZOREK Iris(zoom)

相京祐飛(委任状) 塩田佳代子(委任状) 鹿野豊(委任状) 高瀬堅吉(委任状)

賛助会員(オブザーバー)：住友重機械工業（株） 中條晃伸 堀重雄

議長の選任：渡辺

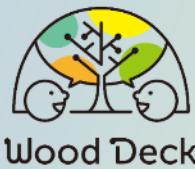
議事録署名人2人の選任：秋山、石塚

議事録・メモ作成者の選任：辻

写真撮影：森田

# 第2号議案 2024年度の活動報告

## アニュアルレポート2024



特定非営利活動法人  
ウッドデッキ

アニュアルレポート 2024

2025年5月

# 目次

1. ビジョン -----	p.2
2. 2024メンバー -----	p.3
3. 事業・管理運営報告	
総会の実施・報告 -----	p.7
ホームページでの発信 -----	p.8
パンフレットの作成と横浜市役所への設置 --	p.9
シンポジウム2024の企画・実施・報告 -----	p.10
対話会「未来を描くきっかけを作ろう」-----	p.14
若手科学者のためのオーラル・ヒストリー	
デジタルアーカイブ -----	p.15
ウッドデッキ賞授賞 -----	p.17
企業の協賛・エコシステム構築-----	p.18
神奈川県から補助金-----	p.19
規程類の策定 -----	p.20
4. 会議報告 -----	p.21
5. 収支報告 -----	p.24



# 1. ビジョン

今、日本社会が直面している課題は山のようになり、

それらは時代の転換点特有のものばかりです。

これからは、地球環境を守り、今あるものを大切に、  
人々が幸せに生きていくための新しい方法が求められます。

そこには、新しい学際的で総合的な科学の力、  
社会の課題を当事者として受け止める科学者の力が必要です。  
変化を起こすのは、未来に責任を持つ若い科学者です。

若い科学者が様々な世代の科学者や市民と語り合い、

新たな未来への道筋をつくるために、

私たちWood Deck (ウッドデッキ)は多くの人が安心して自由に、  
そして科学的に議論する場を提供します。

## 2. 2024メンバー

代表理事  
渡辺美代子



理事  
山極壽一



理事  
WIECZOREK Iris



理事  
濱口道成



理事  
CASSIM Monte



監事  
秋山咲恵



事務局ディレクター  
辻明子



動画制作ディレクター  
シンポジウムディレクター  
高瀬堅吉



企画広報マネージャー  
石塚真由美



シンポジウムマネージャー  
井関祥子



企画広報マネージャー  
相京祐飛



シンポジウムマネージャー  
ワークショップマネージャー  
森田純恵



企画広報マネージャー  
鹿野豊



ワークショップディレクター  
安田仁奈



プロジェクトマネージャー  
小浦節子



プロジェクトマネージャー  
近藤誠一



プロジェクトマネージャー  
寺本華奈江



プロジェクトマネージャー  
塩田佳代子



プロジェクトマネージャー  
小野悠

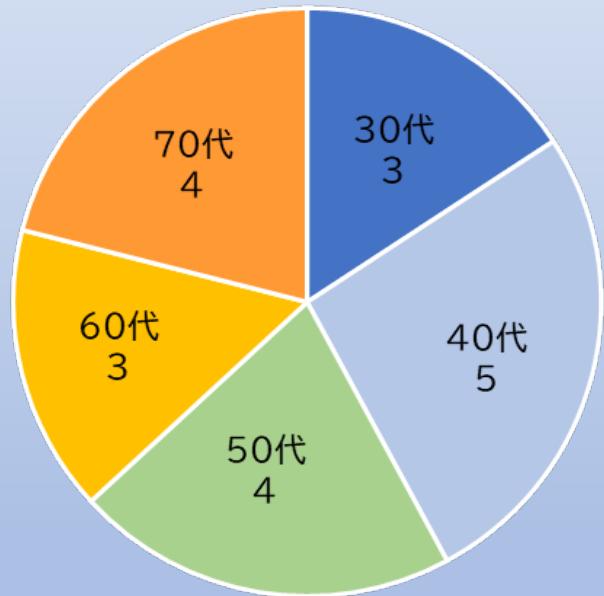


賛助会員  
住友重機械工業（株）



# メンバーの多様性

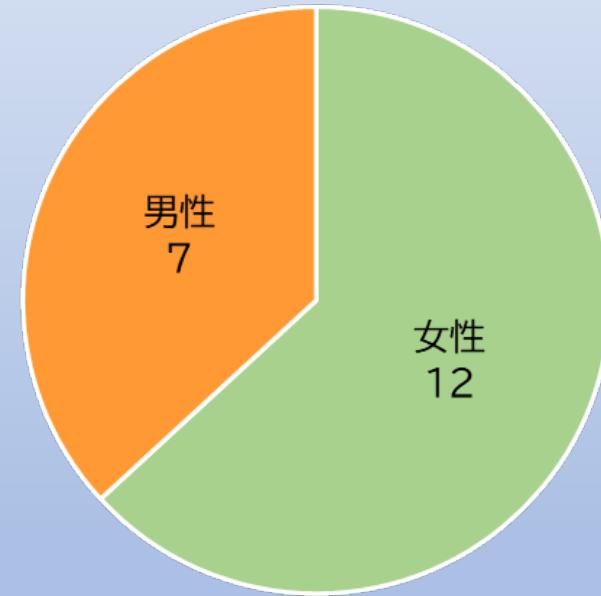
想定年代



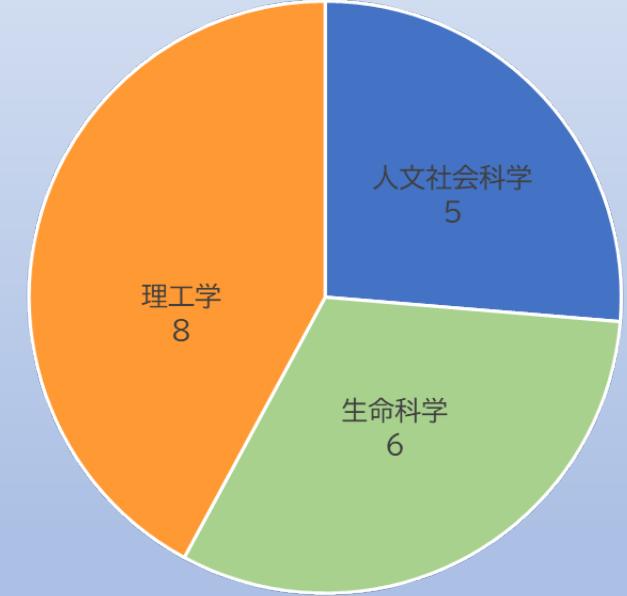
居住地



性別



専門分野



# 3. 事業・管理運営報告

## 総会の実施・報告

2024年5月23日（木） 15:00-17:00に日本大学会館202会議室で総会を実施

18名の参加（実参加9名、オンライン参加4名、委任状5名）で議論

第1号議案 メンバー自己紹介、議長の選任

第2号議案 理事・監事の選出

第3号議案 2023年度活動報告

第4号議案 2024年度活動計画

第5号議案 意見交換

上記を審議し、承認

その結果をホームページで公開



# ホームページでの発信

企画広報マネージャーが随时ウッドデッキの最新情報をHPで公開

ウッドデッキ賞授賞式の報告

シンポジウム2024の企画紹介・参加者募集、会員コメント紹介、事後報告

対話会「未来を描くきっかけを作ろう」の企画紹介・参加者募集、事後報告

若手研究者のためのオーラルヒストリー・デジタルアーカイブ公開

総会・理事会等の会議資料公開

新規規程の公開

スポンサーの公開

閲覧者数 1,105

(2022年度624, 2023年度1,185 )

アクセス数(ページビュー) 5,332

(2022年度3,359, 2023年度5,764)

新規訪問者  
PC閲覧が多数

シンポジウム前に集中



# パンフレットの作成と横浜市役所への設置

多くの市民に周知するために、パンフレットを作成  
横浜市役所内市民協働推進センターに設置

**ビジョン**  
久遠にわたる豊かな自然環境を守るために、市民がつながる  
組織や活動をもつてあります。この通り、また、より多くの  
市民が木の文化を理解し、楽しむための活動が実現  
されます。それは、新しい技術で社会をつなぐため、社会の活性化  
を図るために、あらゆる力がおられます。私たちのことは、  
木と人間をつなぐ活動です。

木と人間が豊かな自然環境を守るために、新しい技術への  
挑戦をつむぐため、また、Wood Deck フォーラムで多くの  
人が安心して活動して、社会的貢献する活動をめざします。

**私たちについて**

各種オフィス、会社、団体、市民団体など、市民との  
連携を大切にしながら、科学技術の普及や、社会的貢献を  
通じて社会的貢献を行うことをめざします。

**スポンサー会員**

JEOL  
住友重機械  
SHIMADZU  
Excellence in Science

特定非営利活動法人 ウッドデッキ  
〒247-0008 横浜市栄区本郷台2-25-11  
email: secretariat.wd@gmail.com  
NPO ウッドデッキ  
<https://www.wooddeck.org>

**メンバーの多様性**

- 1. 想定年代
- 2. 居住地
- 3. 性別
- 4. 専門分野

**シンポジウム**  
毎年市民と科学者を対象にシンポジウムを開催

**学生とシニア科学者の対話会**  
小グループで学生の真の声を中心対話

**オーラルヒストリーデジタルアーカイブ**  
～次世代に残すメッセージ～

秘蔵書籍の科学者の生立ち、学術的貢献、  
本の世界にまつわる歴史を紹介



# シンポジウム2024の企画・実施・報告

シンポジウム 若者の「今」と「これから」を考える

企画趣旨：  
現在、若者の生きづらさが深刻な社会問題となっています。横浜市立大学ではCOI-NEXTにおいて「Minds1020Lab」拠点を設立し、若者の心の課題を包括的に研究する新たな学術領域を立ち上げ、展開しています。そして、NPO法人「ウッドデッキ」は、若者がどのように未来を切り拓いていくかをサポートする取り組みを行っています。このたび、「若者の『今』と『これから』を考える」をテーマにシンポジウムを開催します。社会格差などが若者の生きづらさを生み出しているという考え方について議論を深めていきます。

日 時：2024年11月16日（土）13：00～16：20

会 場：横浜市立大学 金沢八景キャンパス YCUスクエア  
※オンライン配信も合わせて行います。

対 象：高校生、大学生、大学院生、社会人

プログラム：総合司会 井関 祥子（東京科学大学教授）  
13:00-13:05 開会挨拶 渡辺美代子（NPO法人ウッドデッキ代表理事）  
13:05-13:20 趣旨説明 高瀬 堅吉（横浜市立大学客員教授・中央大学教授）

13:20-14:10 基調講演 山極 壽一（総合地球環境学研究所所長）  
「思春期の学びとは何か」

14:10-14:40 講演 奥村 春香  
(NPO法人第3の家族代表)  
「第3の家族の活動から見える若者の今」

15:00-16:15 パネル討論「今の若者の生きづらさを考える」  
パネリスト  
相原 祐飛 (IonQ, Inc.)  
寺本 葉奈江 (株式会社島津製作所副ビジネスユニット長)  
宮崎 智之 (Minds1020Labプロジェクトリーダー、横浜市立大学教授)  
モント カセム (国際教養大学理事長兼学長)  
鶴岡 千夏 (横浜市立大学医学部看護学科学生)  
藤本 敦也 (横浜市立大学特任教授)

ファシリテーター  
橋 勝 (横浜市立大学副学長)

16:15-16:20 閉会挨拶 橋 勝 (横浜市立大学副学長)

主 催：NPO法人ウッドデッキ／横浜市立大学COI-NEXT (Minds1020Lab)  
後 援：文部科学省

第3回のシンポジウムを2024/11/16午後、COI-NEXT Minds1020Labと共に、公立大学法人横浜市立大学金沢八景キャンパスで開催することを決定し実施

シンポジウムディレクター・マネージャーのオンライン会議にて

今後の検討内容を確認 (2024/8/1)

テーマ、講師、参加者募集について議論 (2024/8/8)

「若者の「今」と「これから」を考える」をテーマとしシンポジウム開催を決定 (2024/8/17)

共催側と予算分担打合せ、プログラム確定 (2024/8/31)

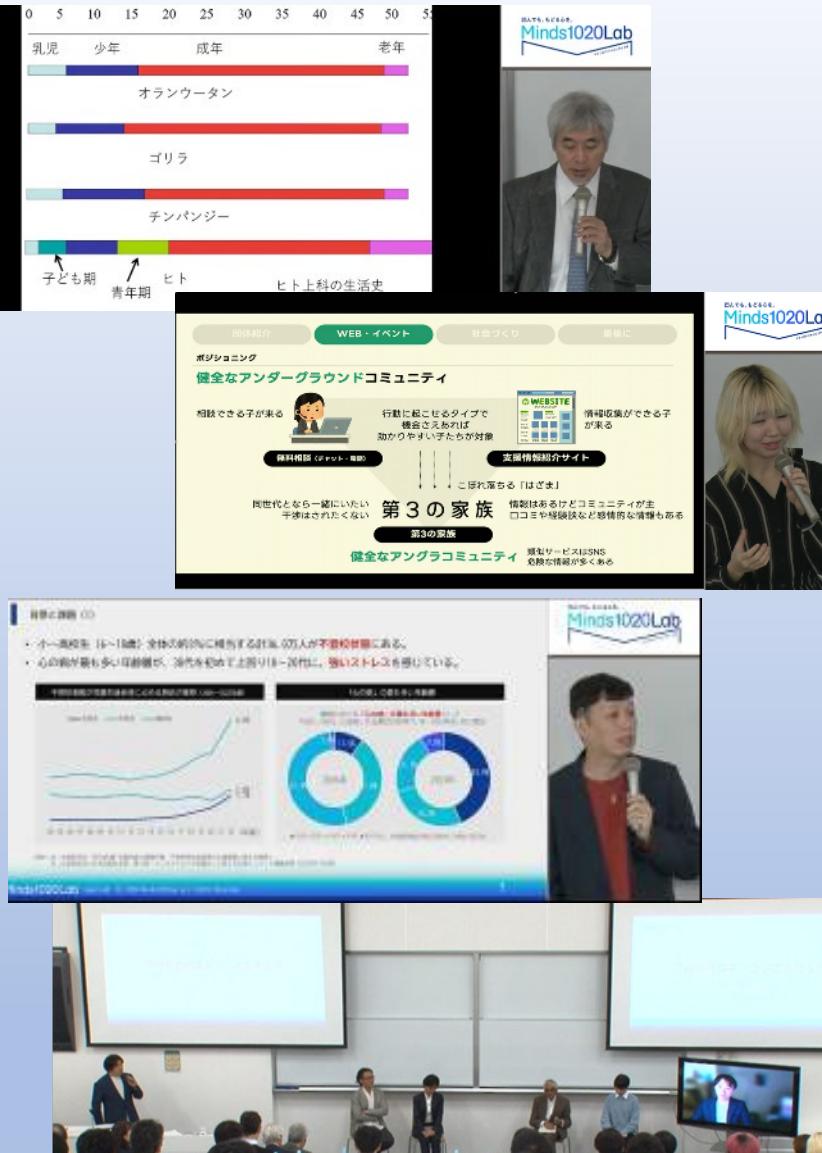
企画・進行について打ち合せを実施 (2024/9/15)

会場・設営・進行について確認 (2024/10/23)

メールにて隨時打合せ

前日に関係者で最終確認 (2024/11/15)





## 第3回シンポジウムを横浜市立大学COI-Nextとの共催で

ハイブリッド形式にて開催 (2024/11/16)

参加は現地で72名、オンラインで43名、合計115名

会場は横浜市立大学 金沢八景キャンパス YCU スクエア

若者の生きづらさの社会課題の解決に向けて、本法人理事の山極壽一・総合地球環境学研究所所長による基調講演、横浜市を拠点に過干渉など子どもの問題の解決を進める NPO 法人「第 3 の家族」の奥村春香代表による講演、そしてパネルディスカッションの 3 部構成で実施

本シンポジウムは若い研究者・学生にも聴いてほしいという思いで企画  
20歳代以下の参加率は全体の34%と高い割合、高校生が参加し  
積極的な発言

若者の生きづらさの原因は本人のみにあるのではなく、学校や家庭で話をする場づくりが大切、多様な居場所の必要性を議論





## ホームページでの報告



wooddeck3  
1月27日・読み時間: 1分

### 第三回シンポジウムのご報告

第三回シンポジウム、たくさんの方にご参加いただき、とても活発な議論ができました。心から御礼を申し上げます。大学生、高校生の皆さんも参加した午後のイベ...



## 神奈川新聞に紹介記事

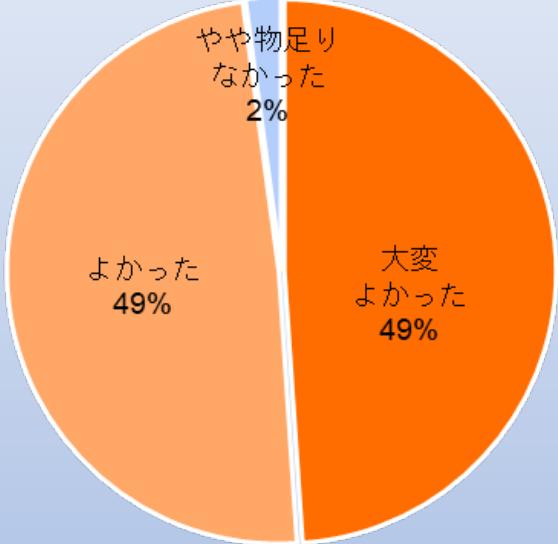
●掲載記事 神奈川新聞（電子版・有料）  
<https://www.kanaloco.jp/news/social/article-1126369.html>

ゴリラ博士が「大学をジャングルに」横浜市大で若者の応援策探るシンポ | カナロコ by 神奈川新聞

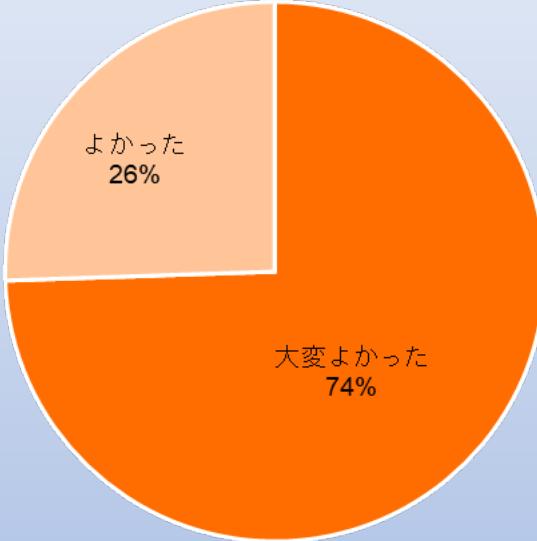
「若者の生きづらさ」と解決をテーマに若い世代への応援策を探るシンポジウムが16日、横浜市立大金沢八景キャンパス（同市金沢区）で開かれ、オンラインを含め約120人が参加した。雪長類研究で「ゴリラ博士」として知られる山極壽一・総合地球環境学研究所長（元日本学術会議会長）が「生きづらさは主体的に未知に接し、学ぶ場が乏しいから。とりわけ大学はジャングルでなければならぬ」と説明。このほか、…

# シンポジウム参加者アンケート結果

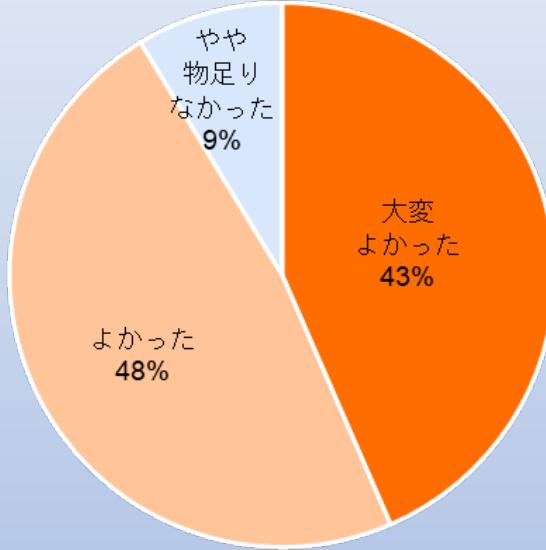
全体



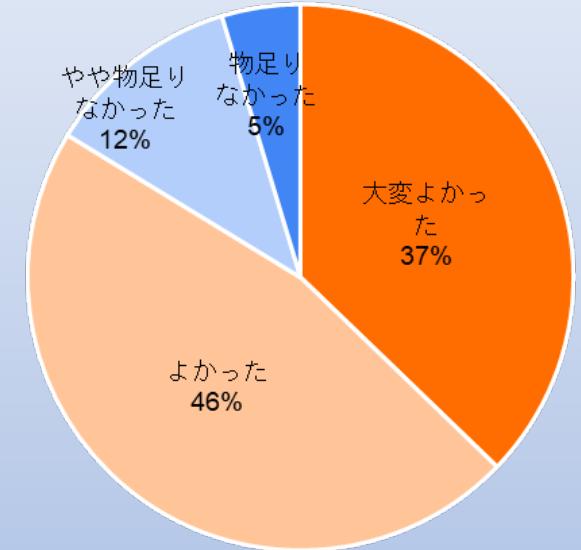
基調講演



講演



パネル討論

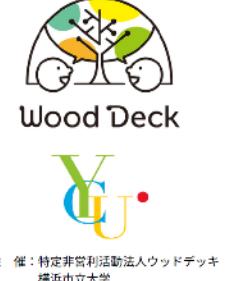


## 自由記述例

- ・思わず目を背けたくなる社会課題を知るいい機会になりました。
- ・若者の悩みの原因が可視化されているようで、コミュニケーションがうまくいかない理由がわかった気がした。
- ・パネリストに、もう少し若手を増やしても良いのかなと感じました。私達が知るべきは今を生きる若者の声です。
- ・子供が3人いる親としては、講演・パネルディスカッションがとても良かった。
- ・オンライン参加者の質問も受け付けていただけると良いと思います。

# 対話会「未来を描くきっかけを作ろう」

シンポジウム当日の午前中に現地参加の学生を対象に、シンポジウムに先立って**対話会を開催**



木の葉のロゴ  
Wood Deck  
共 催：特定非営利活動法人ウッドデッキ  
横浜市立大学  
YU.  
NPO法人ウッドデッキ × 横浜市立大学

対話型企画 第2回「未来を描くきっかけをつくろう！」

「大学に入ってみたけど、やりたいことが見つかって将来の自分が描けない、高校から大学院までの学生時代はさまざまな思いや悩みを抱える時期ですが、今の若者はそうした気持ちを誰かに伝える機会があまりありません。NPO法人ウッドデッキでは、昨年、国際教養大学で対話型企画を開催し、一緒に活動してきた先輩（メンター）たちと自由に対話をし、若者が自分の将来を描くきっかけを見つけるワークショップを開催しました。参加した若者たちから「ワークショップを通じて、これから自分の道しるべを得られた」という感想を多く頂いたことから、今年は横浜市立大学にて第2回を開催することになりました。ご興味のある方はぜひご参加ください！」

---

お話しする先輩（メンター）たち



佐藤 友美（横浜市立大学・教授）  
生命の不思議に惹かれて研究者の道へ、論理的な考え方の大切さ、環境ホルモン  
森田 純恵（秋田市立大学・教授）  
会社にはいったら目指すこと、イノベーションを生む、やってきたチャンスは逃さない、ワークライフバランス  
モント・カセム（国際教養大学・理学部兼任准教授）  
大家族の精神、日本とスリランカの相互理解、勉強も遊びもスポーツも、自分の内発的な声を大切に  
安田 仁奈（東京大学大学・教授）  
大学受験での失敗、修士で専門を変える、研究で見てきた海と世界、）磨きと暮らしながらの野外調査研究  
山口 葦一（絶滅危惧種研究室・所長）  
ゴリラの生き方から人間を知る、勝とうとしてすること負けないことの違い、共感力、自分の時間の放棄で未来を築く  
横山 崇（横浜市立大学・教授）  
大学での学び、表面の科学、原子レベルの観察  
渡辺美代子（日本大学・常務理事、特定非営利活動法人ウッドデッキ代表理事）  
女性の楽しさ、女性の活躍、研究と家庭の両立、世界からみる博士号のメリット、未来のための経験  
お話ししたい先輩（メンター）がいる場合は、お名前・ご所属の下にあるKeywordを参考に申し込みサイトでお名前を書いてください。

日 時：2024年11月16日（土曜日）  
10:00～11:45

会 場：横浜市立大学 金沢八景キャンパス  
YUスクエア

対 象：横浜を中心とした高校生、大学生、  
大学院生

申込〆切：11月9日（土曜日）



申し込みサイトURL：  
<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLS9t9aJewBL5awm...>

参加は学生20名、メンター 6 名、3つの部屋に分かれた対話形式で実施

世代の大きく異なるメンターと学生が対話を通じて、未来を描くきっかけをつくることを目的に実施。研究や大学生活で感じる疑問、時代の変化とともにどう生きるべきかを議論し、それぞれの経験や視点を共有する場となった。学生は、普段聞けない深い話やキャリアに関する実践的なアドバイスを得る機会となり、メンターも若い世代の率直な意見に触ることで新たな発見を得た。



# 若手科学者ためのオーラルヒストリーデジタルアーカイブ ～次世代に残すメッセージ～

2024年10月20日(日) 11:00-16:00

北条SACIにて2名のインタビューを実施

誰も経験したことのない冒険を楽しむ権威ある科学者に

- 1) 生い立ち
- 2) 多彩な取り組み
- 3) 若手へのメッセージ

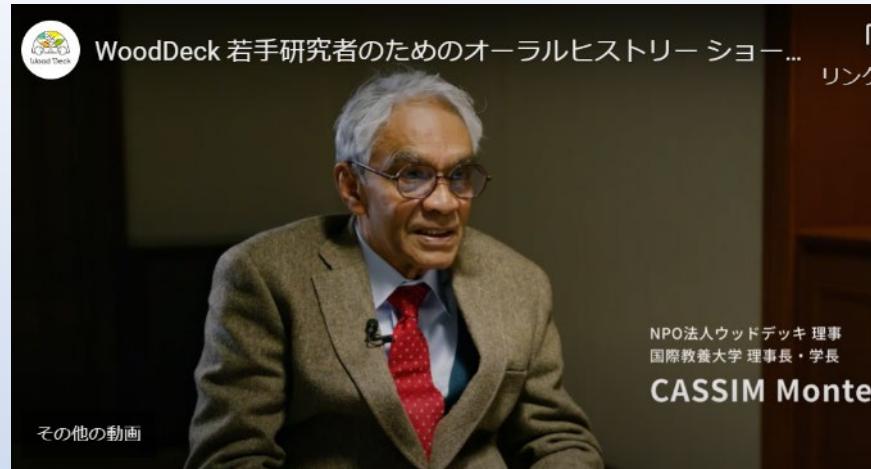
についてインタビューを行い、映像資料を制作

この制作を通じて、従来のアカデミアでは継承することが  
困難であった先人の知の世代間伝承を推進

若手科学者が自分の人生にどのように向き合い、  
どのように未来を切り拓いていくかの洞察を得る契機と  
する狙い



## 2023年度撮影の動画をHPで公開



## 動画制作研修会を実施

日時：2025年3月5日（水）10:00-10:50

会場：Zoomミーティング

講師：映像ディレクター 松田健太郎氏

参加者：当日参加：4名、オンデマンド参加：3名



# ウッドデッキ賞授賞

ウッドデッキに貢献した者にウッドデッキ賞（Wood Deck Award）を授与  
2024年5月23日（木）16:30-17:00に日本大学会館202会議室で  
総会の一環として表彰式を実施

## 2023年度ウッドデッキ賞 森田純恵

受賞理由：第2回ウッドデッキシンポジウムの企画から運営・報告書公開まで、リーダーとしての役割を責任を持って成功に導き、その後シンポジウムでの議論を秋田地域の学生に向けた活動に展開し、ウッドデッキの発展に大きく貢献



## 2022年度ウッドデッキ賞 辻明子

受賞理由：ウッドデッキ設立初年度に、会計をはじめとする困難な事務局業務を緻密かつ正確に責任を持って成し遂げ、ウッドデッキ設立の成功に大きく貢献



# 企業の協賛・エコシステム構築



「科学の力で未来をもっと豊かに」の  
ビジョンを掲げる日本電子株式会社に  
設立当初から協賛いただいております

今年度は、「一流を、世界へ。」の  
オモイを表明するに住友重機械工業  
株式会社に協賛いただきました

今後協賛いただく企業を選定し、  
ウッドデッキの活動を広報し、  
協賛を募る予定です



住友重機械

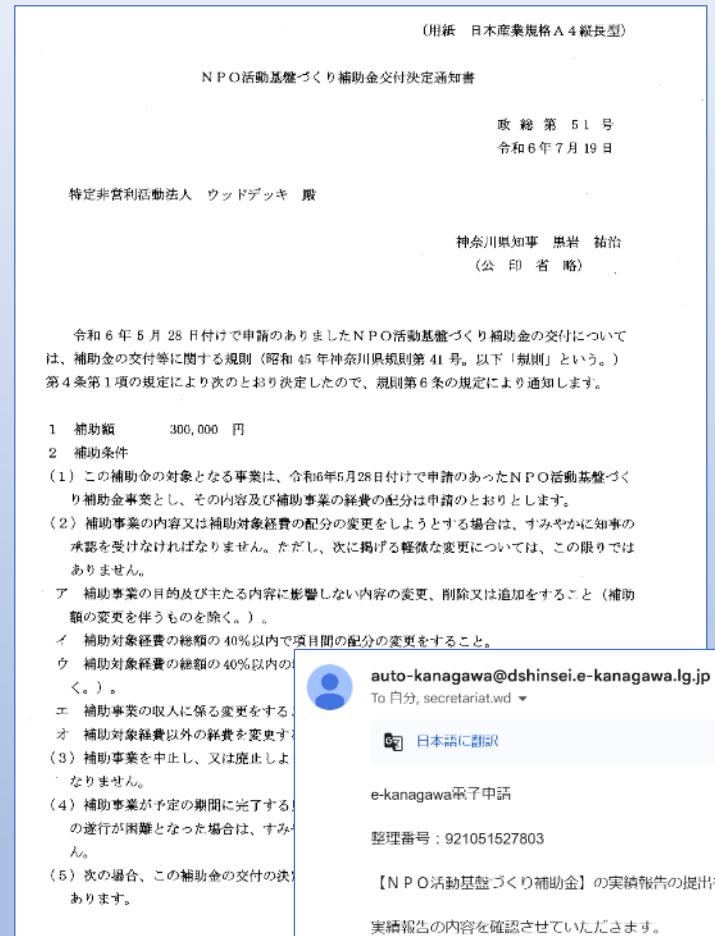
# 神奈川県から補助金

2024/5/29 神奈川県「NPO活動基盤づくり補助金」  
を申請

2024/7/19 補助金30万円 交付決定を受理

2025/3/25 実施報告書を提出

実施報告書、事業報告書、収支決算書、  
発注記録、納品記録、領収書



【問い合わせ先】  
神奈川県政策局政策部NPO協働推進課NPO支援グループ  
電話 045-210-3703 (直通)  
電子メール [kyodo0223@pref.kanagawa.lg.jp](mailto:kyodo0223@pref.kanagawa.lg.jp)

# 規程類の策定

1つの規程を策定

規程第五号 メール審議規程

1つの規程を改定

規程第三号 寄付金取扱規程

第9回理事会（2025/3/25）にて了承

上記 2 規程

規程第5号	規程第3号
特定非営利活動法人ウッドデッキ メール審議規程	特定非営利活動法人ウッドデッキ 寄付金取扱規程
<b>(目的)</b> 第1条 この規程は、特定非営利活動法人ウッドデッキ（以下「当法人」といいます）が受領する寄付金に関する事項を定めることを目的とする。	<b>(目的)</b> 第1条 この規程は、特定非営利活動法人ウッドデッキ（以下「当法人」といいます）が受領する寄付金に関する事項を定めることを目的とする。
<b>(メール審議の対象議案)</b> 第2条 メール審議は、止むを得ない事情により時間的余裕が少ないとして審議時間を多く要しない等の理由により、代表理事が面談会議を開催して議決するよりも適当であると判断する議案について実施する。	<b>(定義等)</b> 第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。 (1) 一般寄付金 個人または団体から使途の特定がなされないで受領する寄付金 (2) 指定寄付金 広く一般に、当法人が使途を特定して一定期間募金活動を行うことにより受領する寄付金
<b>(メール審議の決定)</b> 第3条 代表理事は、理事会等を開催するにあたり、メール審議により決定することができる。	<b>(情報公開)</b> 第6条 当法人が受領する寄付金については、事務所への備置き及び閲覧等の措置を講ずるものとする。ただし、ホームページ上の公開に代えることができる。また、寄付者がホームページ上の公開を辞退した場合は、公開しない。
<b>(メール審議の方法)</b> 第4条 メール審議は、原則として、理事等関係者全員に対して同時に実行するものとする。	<b>(個人情報保護)</b> 第7条 寄付者に対する個人情報については、別に定める個人情報保護方針（プライバシーポリシー）に基づき、情報を管理するものとする。
2 代表理事は、メール審議を行うと決定をした場合、事務局を通じて会議の日時、手段及び審議内容の事項を記載した内容を理事等に通知する。	<b>(改廃)</b> 第8条 この規程の改廃は、理事会の決議により行うものとする。
<b>(メール審議の期間)</b> 第5条 メール審議の期間は、原則として、少なくとも、メール議決する。	<b>附則</b> この規程は、2023年11月1日から施行する。 この規程は、2025年3月25日から施行する。 (2024年11月16日理事会及び2025年3月25日理事会議決)
<b>(メール議決)</b> 第6条 メール議決においては、理事等関係者は賛成、反対、保留の意思を明示して、理由やコメント等を付すことができる。	
<b>(メール議決の成立)</b> 第7条 メール議決の回答期限までに理事等関係者の2分の1以上	

# 4. 会議報告

## 総会

開催日時：2024/5/23（木）15:00 – 17:00

会場：日本大学会館202号室 およびzoomによるハイブリッド

出席：18名（うち会場参加：9名、zoom参加：4名、委任状：5名）+オブザーバー2名

議事および議決結果：理事・監事の選任、2023年度活動報告と2024年度活動計画等

## 理事会

第6回 開催日時：2024/4/26（金）16:00 – 17:00 会場：zoomによるオンライン会議

出席：5名（うち実参加(zoom)：4名、委任状：1名）+事務局

議事：2023年度決算報告、監事報告、ウッドデッキ賞選考プロセスの確認等

第7回 開催日時：2024/5/23（木）15:00 – 15:30 会場：日本大学会館/zoomによるオンライン

出席：6名（うち実参加(会場)：4名、zoom：2名）+事務局

議事：署名人の選定、代表理事の選任

第8回 開催日時：2024/11/16（土）12:00 – 12:50 会場：横浜市立大学金沢八景キャンパス

出席：5名（うち実参加(zoom)：4名、委任状：1名）+事務局

議事：シンポジウム2023のその後、シンポジウム2024の確認、シンポジウム2025の企画、寄附金規程追記等

第9回 開催日時：2025/3/25（火）13:30-14:45 会場：zoomによるオンライン会議

出席：6名（うち実参加(zoom)：6名）+事務局

議事：2024年度決算報告、監査報告、メール審議規程、2024年度ウッドデッキ賞選考等

# シンポジウム企画準備会

## オンライン準備会

第1回 開催日時：2024/8/1（木）10:00-11:00

第2回 開催日時：2024/8/8（木）19:30-21:00

第3回 開催日時：2024/8/17（土）13:00-15:00

第4回 開催日時：2024/8/31（土）13:00-15:00

第5回 開催日時：2024/9/15（日）8:00-9:30

第6回 開催日時：2024/9/30（月）15:00-17:00

第7回 開催日時：2024/10/23（水）17:00-19:00

第8回 開催日時：2024/11/1（金）10:00-12:00

出席：4-7名

内容：シンポジウムプログラムの検討・決定と会場・設営・進行について

## 前日準備会

開催日時：2024/11/15（金）18:30-20:30

会場：横浜萬珍樓點心舗 出席：12名

内容：シンポジウムプログラム内容と進行の確認

※詳細は10ページ

## 対話会オンライン準備会

第1回 開催日時：2024/3/29（金）14:00-15:00

第2回 開催日時：2024/8/8（木）19:30-21:00（シンポジウム準備会と合同）

第3回 開催日時：2024/8/31（土）13:00-15:00（シンポジウム準備会と合同）

第4回 開催日時：2024/10/28（月）11:00-12:00

第5回 開催日時：2024/11/8（金）15:30-16:30

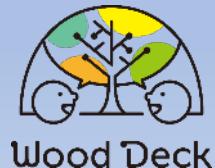
出席：3-6名

内容：対話会プログラムの検討・決定と参加者募集について

# 5. 収支報告

(単位: 円)

		第3期 (2024年度)		(参考)	
				第2期 (2023年度)	前年度増加 (FY24 - FY23年)
収益	寄付金		2,000,000	2,000,000	0
	利息		546	3	543
	雑収益		300,516	0	300,516
	合計		<b>2,301,062</b>	<b>2,000,003</b>	<b>301,059</b>
費用	(事業費)	(管理費)			0
	人件費	0	0	0	0
	業務委託費	1,139,077	0	1,139,077	715,000 <b>424,077</b>
	諸謝金	0	0	0	83,308 <b>△ 83,308</b>
	印刷製本費	69,069	40,037	109,106	119,691 <b>△ 10,585</b>
	会議費	82,700	36,300	119,000	153,860 <b>△ 34,860</b>
	旅費交通費	286,651	42,730	329,381	435,610 <b>△ 106,229</b>
	広告宣伝費	6,930	6,930	13,860	13,860 0
	接待交際費	315,190	0	315,190	93,416 <b>221,774</b>
	通信運搬費	0	44,590	44,590	22,110 22,480
	消耗品費	0	26,290	26,290	23,760 2,530
	支払手数料	5,720	1,550	7,270	5,555 1,715
	合計	1,905,337	198,427	<b>2,103,764</b>	<b>1,666,170</b> <b>437,594</b>
<b>当期収支</b>		<b>197,298</b>		<b>333,833</b>	<b>△ 136,535</b>
前期繰越金		383,768		49,935	333,833
<b>次期繰越正味財産額</b>		<b>581,066</b>		<b>383,768</b>	<b>197,298</b>



特定非営利活動法人 ウッドデッキ  
〒247-0008 横浜市栄区本郷台2-25-11  
email: [secretariat.wd@gmail.com](mailto:secretariat.wd@gmail.com)

NPO ウッドデッキ



# 2024年度総会の実施計画フォローアップ

## 2024年度当初計画 ⇒実績

### 事業

①公開シンポジウム@横浜市大, 11/16PM

COI-NEXT、横浜市大との共催

⇒2024/11/16PMシンポジウム実施

②理系女子ワークショップ@横浜市大, 11/16AM

横浜市大との共催

⇒2024/11/16AM対話会実施

③オーラルヒストリー映像制作

⇒2024/10/20インタビュー・撮影実施、

2025/2,3制作動画納品

④ウッドデッキ賞の授賞 本日

⇒2024/5/23実施

### 法人管理

①HP更新・充実

⇒隨時更新

オーラルヒストリー動画を公開

②長期計画の検討

⇒理事会で隨時議論

ファンドレイザーとの打合せ

③寄付金、会員の拡大

⇒寄付金の維持

神奈川県補助金獲得

新規会員 1名 (小野悠さん)

④本日の議論から+年度途中の提案

⇒パンフレットの作成

神奈川県補助金獲得

# 第3号議案 2025年度の活動計画

## 事業

- ①公開シンポジウム@北海道大学, 10/31PM  
北海道大学との共催 (¥560,000)
- ②高校生との対話ワークショップ@立命館慶祥高校 11/1  
立命館慶祥高校との共催 (¥160,000)
- ③オーラルヒストリー映像制作 (¥900,000)
- ④ウッドデッキ賞の授賞 本日
- ⑤本日の議論から + 年度途中の提案

## 法人管理

- ①HP更新・充実
- ②寄付金、会員の維持・拡大
- ③長期計画の検討

# 2025年度予算

収入 寄付金	¥2,000,000
支出 合計	¥2,000,000
<u>事業費</u>	<u>¥1,820,000</u>
業務委託費	¥1,000,000
印刷製本	¥ 60,000
会議費	¥100,000
旅費	¥500,000
講師謝金	¥60,000
交際費	¥100,000
<u>    管理費</u>	<u>¥180,000</u>
会議費 (Zoom含む)	¥60,000
旅費	¥50,000
通信費	¥40,000
消耗品費	¥30,000
当期正味財産増減額	¥0
前期繰越正味財産額	¥581,066
次期繰越正味財産額	¥581,066

# 2025年度担当

1	シンポジウム企画・運営	石塚	井関		
2	高校生との対話WS	森田	カセム		
3	理系女子WS企画・運営	寺本	小浦		
4	ネットワーク (HP、SNS)	石塚	相京	鹿野	森田
5	企業協賛(エコシステム構築含む)	森田			
6	若手科学者のためのオーラルヒストリー	高瀬	安田	鹿野	
7	事務局 (会計含む)	辻			

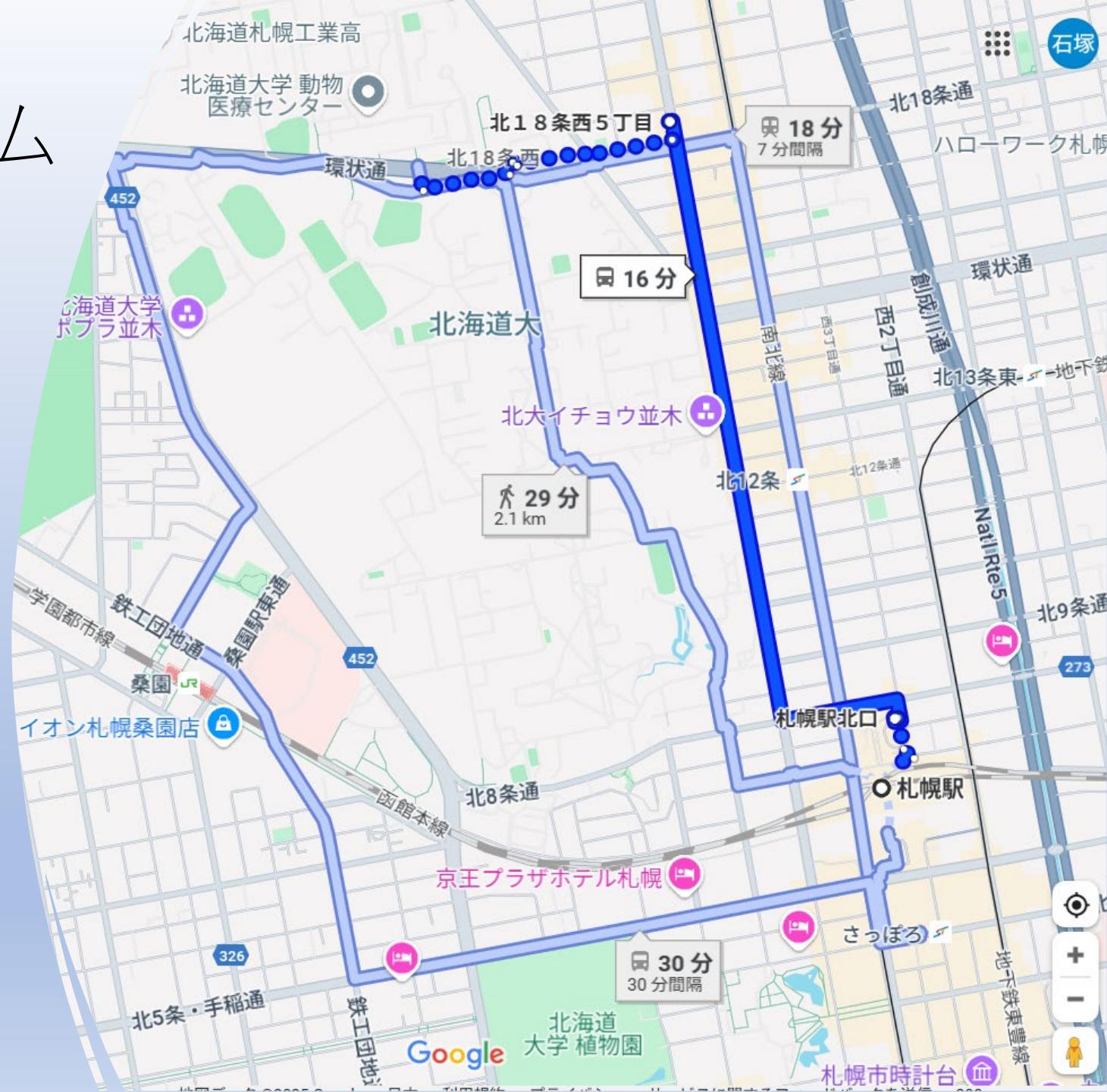
# 第4号議案 意見交換

1. 今年のシンポジウム@北海道大学の内容
2. 高校生との対話会@立命館慶祥中学・高校の内容
3. 若手科学者のためのオーラルヒストリー デジタルアーカイブの内容
4. その他

# 2025年度シンポジウム

## 概要①

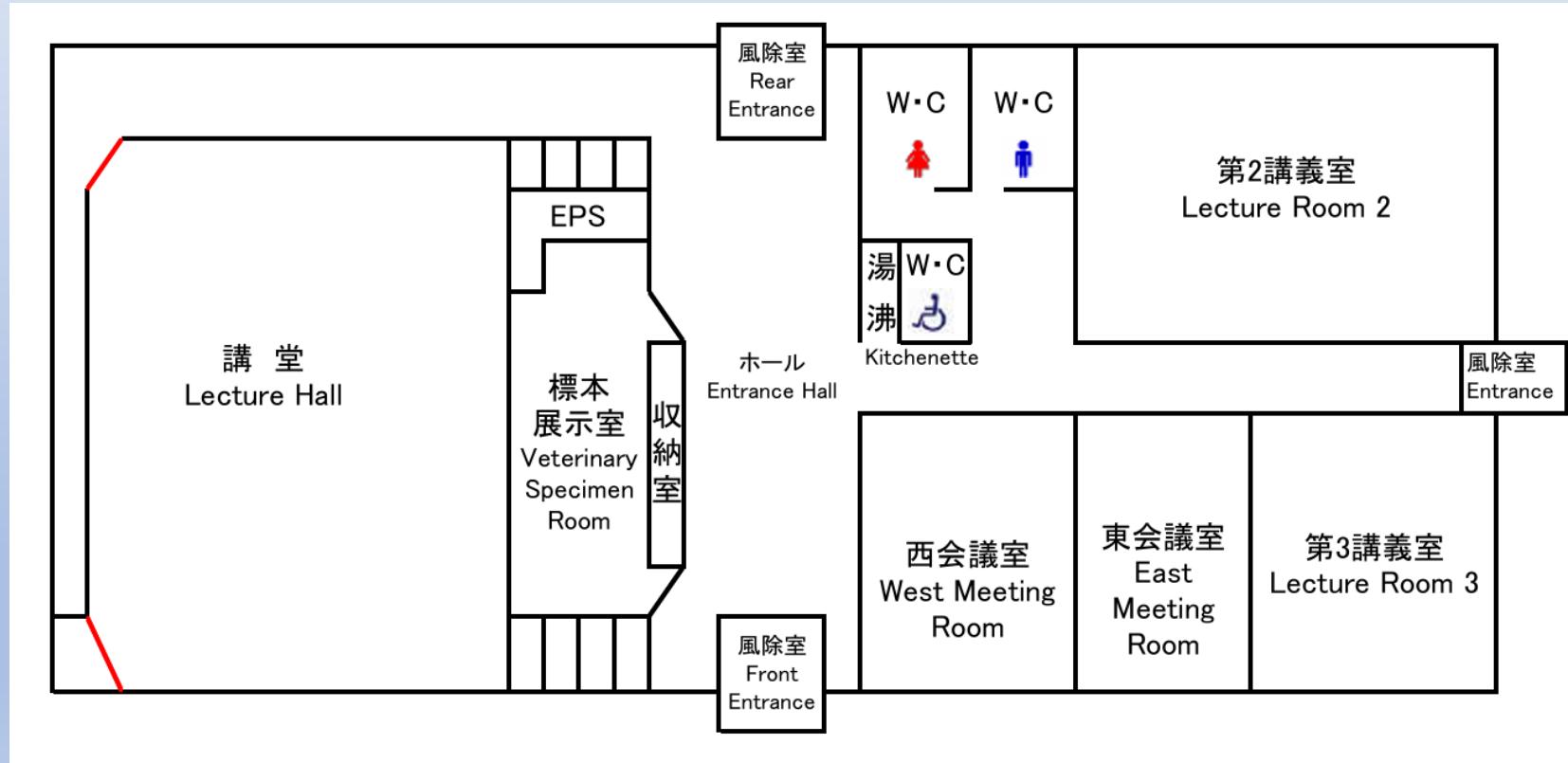
- 開催日時：2025年10月31日（金） 13:00–16:00
- 会場：北海道大学大学院獣医学研究院  
講堂（200名収容）
  - 札幌駅→地下鉄18条駅→（徒歩7–10分）→北大獣医
  - 札幌駅→（徒歩7分）→北大正門→（徒歩30分）→北大獣医



# 部屋の予約状況

- 講義棟

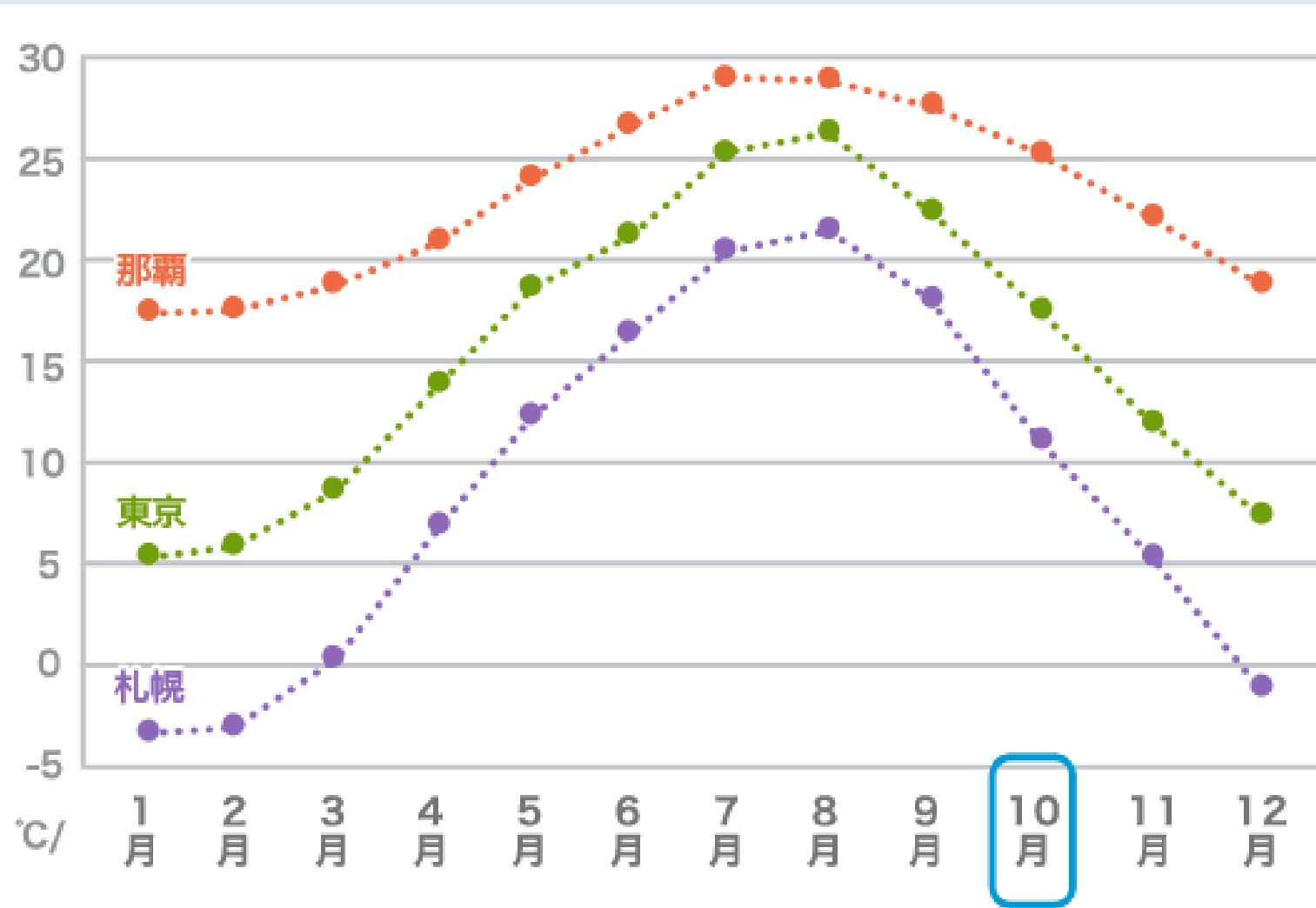
- 講堂：
  - 0:00—16:30
- 第3講義室：
  - 12:00—18:00
- 第2講義室：
  - 12:00—18:00
- 東および西会議室：
  - 終日



## 概要②

- テーマはOne Health
  - One Health（ワンヘルス）は、「人の健康、動物の健康、環境の健全性は互いに深く関係している」という考え方に基づき、人・動物・環境/社会の3つの分野が連携・協力して健康課題に取り組む国際的なアプローチ。

# 10月末の気温



出典：気象庁 過去の地域データ-平均値 (1991～2020)

## 10-11月の服装

10月

11月



# 11/1中学生・高校生との対話会企画

## 準備状況

4/23 立命館慶祥中学・高校の副校長山口太一先生とZoom打合せ

## 内容案

日時：11/1（土） 10:00-15:00

場所：立命館慶祥中学・高校

内容：AM 中3生徒180名とWDメンバーがいくつかの教室に分かれて対話

PM 高2生徒30-40名とグループ討議、生徒から研究紹介、それに対して  
WDメンバーがコメントし対話

## ご相談事項

1. 参加希望者
2. 内容のご希望

# 若手科学者のためのオーラルヒストリーデジタルアーカイブ ～次世代に残すメッセージ～

2025年8月26日(火)  
東京大学農学部弥生講堂アネックス

- 1) 生い立ち
- 2) 多彩な取り組み
- 3) 若手へのメッセージ

についてインタビューを行い、映像資料を制作

# 事務的な確認

1. 旅費は実費、労務費は謝金（会員外）のみ ¥10,000/回
2. 旅費や労務費は年度まとめて支払い
3. 旅費等の申請と領収書の提出期限 1ヶ月以内
4. メールアドレスを共有
5. オンライン会議は記録のために録画、Zoom AI companion使用
6. 兼業届け必要な場合は事務局に連絡
7. **（新規）** 業務委託の際には、発注、納品、振込、領収書類が必要なことがありますので、発注の前に事務局に連絡

# ウッドデッキ賞表彰式

2024年度：住友重機械工業株式会社  
(技術本部技術研究所長 中條晃伸殿)

受賞理由：第3回ウッドデッキシンポジウムにおいて贊助会員として若手社員へ積極的な参加呼びかけを行うとともに内容に対する貴重なご意見を寄せるなど本シンポジウムの成功に大きく貢献しました。これらは産業界の視点を踏まえたウッドデッキの発展に寄与しその功績は高く評価されました。





Wood Deck